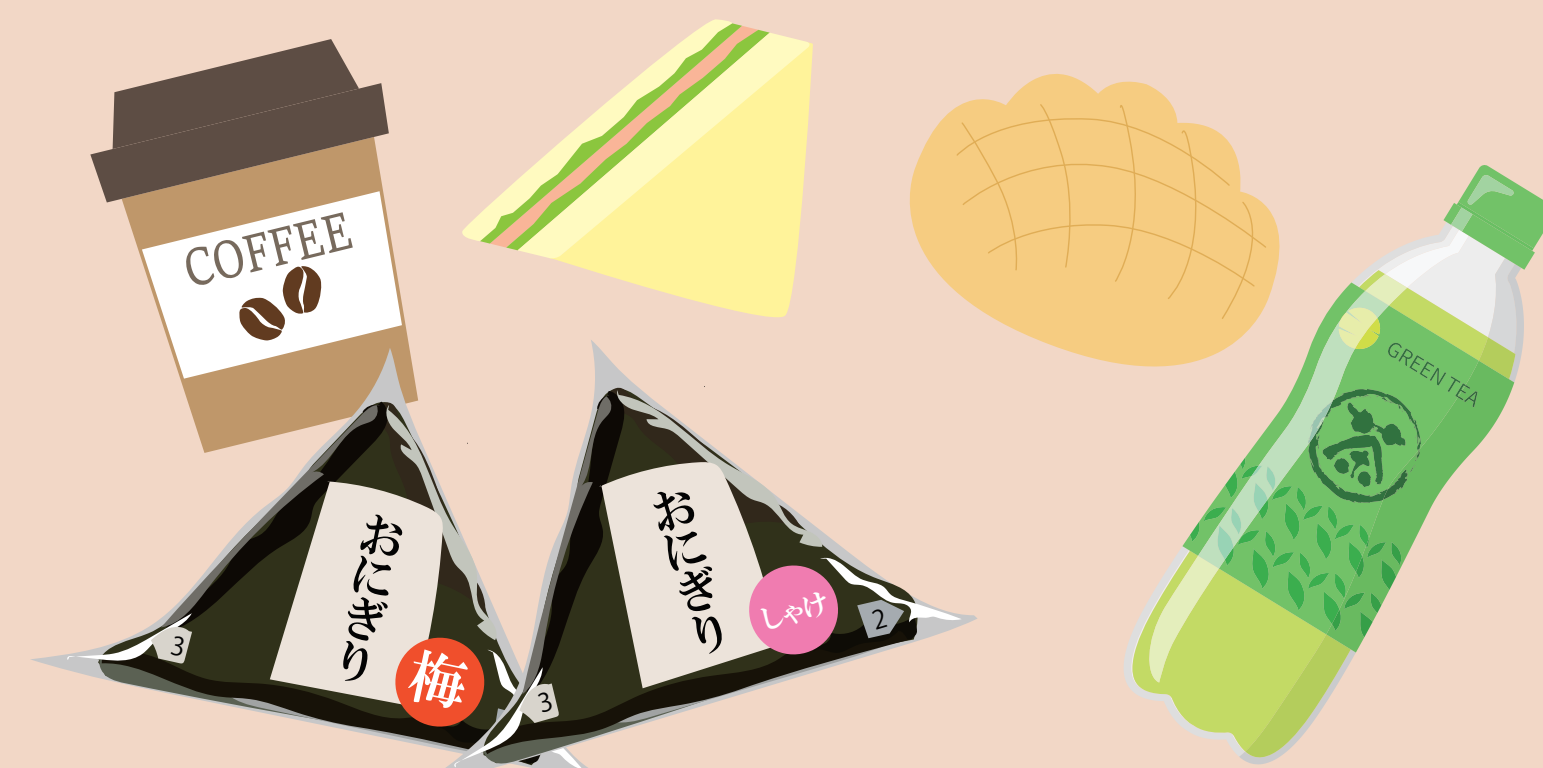


院内売店のご紹介



伊奈病院の1階にある売店「ヤマザキショップ（通称Yショップ）」。「ヤマザキ春のパン祭り」や「ランチパック」などで有名な、山崎製パンをはじめとしたヤマザキグループの商品を豊富に扱っています。Yショップやデイリーヤマザキでしか販売していない商品も多数あります。今回は、Yショップで扱っている特徴的な商品の一部を店員さんに伺ってきましたのでご紹介します。



YBS（ヤマザキベストセクション）

ヤマザキグループオリジナルの商品ブランドです。素材や原材料、製法にこだわり、パンだけでなくおにぎりや弁当、洋菓子など幅広く展開しています。パッケージに「Yamazaki Best Selection」の表記が目印です。



ランチパック大盛

ランチパックの「大盛」バージョン。中の具材が増えたことで食べ応えがあります。こちらはYショップとデイリーヤマザキでの限定販売です。



特選 豆いっぱい大福

Yショップ定番の商品で、「豆大福」と「よもぎ大福」の2種類が販売されています。どちらも他店舗で扱っている一般的な豆大福よりも豆がたくさん入っています。とても好評とのことで、店舗によっては1日に1,000個以上売り上げたこともある大人気商品です。

ちょいパクラスク

「ランチパック」を作るときにカットしたパンの耳を、こんがり焼いて味付けしたサクサクのラスクです。”もったいない”という考えから生まれた商品です。



ヤマザキショップ伊奈病院店

営業時間 / 月～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～13:00
日曜・祝日 10:00～13:00





新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

2023 年 8 月に伊奈病院が新築移転してから 1 年半経過しました。伊奈病院をご利用の患者さまも徐々に慣れてきたかと思ひます。伊奈町唯一の救急病院としてこれまで活動を続けてきましたが、昨年、当院自前の救急車の購入も行い、ますます、救急医療の充実を目指しております。また、救急医療のみならず、慢性期医療も地域包括病床の拡充により、患者さまが日常生活を取り戻せるように職員一同頑張っております。これからも伊奈町及び近隣の皆様の健康を守るべく、一丸となって研鑽を行ってまいります。最後に、皆さまのご多幸、ご健勝を祈念しまして新年のあいさつとさせていただきます。

院長 松村重之

新年あけましておめでとうございます。

2025 年のお正月、皆様はいかがお過ごしでしょうか。伊奈病院も新病院へ移転し、1 年半が経過しました。皆さまにはご不便をかける事もあったかと存じますが、救急車の受入れや外来患者数共に順調に増加しており、伊奈町の医療に貢献出来たと実感しております。

来年度は新たに 4 名の医師が加わり、更なる医療の充実、新たな取り組みも可能な年となることでしょう。整形外科に関しては地域で一番の医師数を誇る病院となります。これまで以上に地域の皆さまに信頼されご不便の無い医療機関を目指し、地域に根差した病院としてさらに質の高い医療を提供して参ります。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。皆さまにとって良い年となりますよう、祈念いたします。

看護部長 須崎香織

2025 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、温かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。新病院で 1 年半を過ごし、新しい環境にもやっと慣れてきた今日この頃です。皆さま方におかれましては新病院での体制の未熟さでご迷惑おかけしたことも多々あったかと思ひますが、スムーズに診察を受けていただけるようになってきたと実感しております。時折、旧病院の横を通りますが、すっかり建物は取り壊され様変わりした風景になんだかさみしいような気持ちもしております。職員だけでなく地域の皆さま方も慣れ親しんだ風景の変化に色々な思いがあるのではないのでしょうか。

今後も患者さまからいただいたご意見と真摯に向き合い、必要とされる質の高い医療・看護の実践に向けて努力を惜しまず改善に向けて取り組んで参ります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

伊奈病院スタッフの

ユニフォーム紹介

伊奈病院の各職種のユニフォームを紹介します。

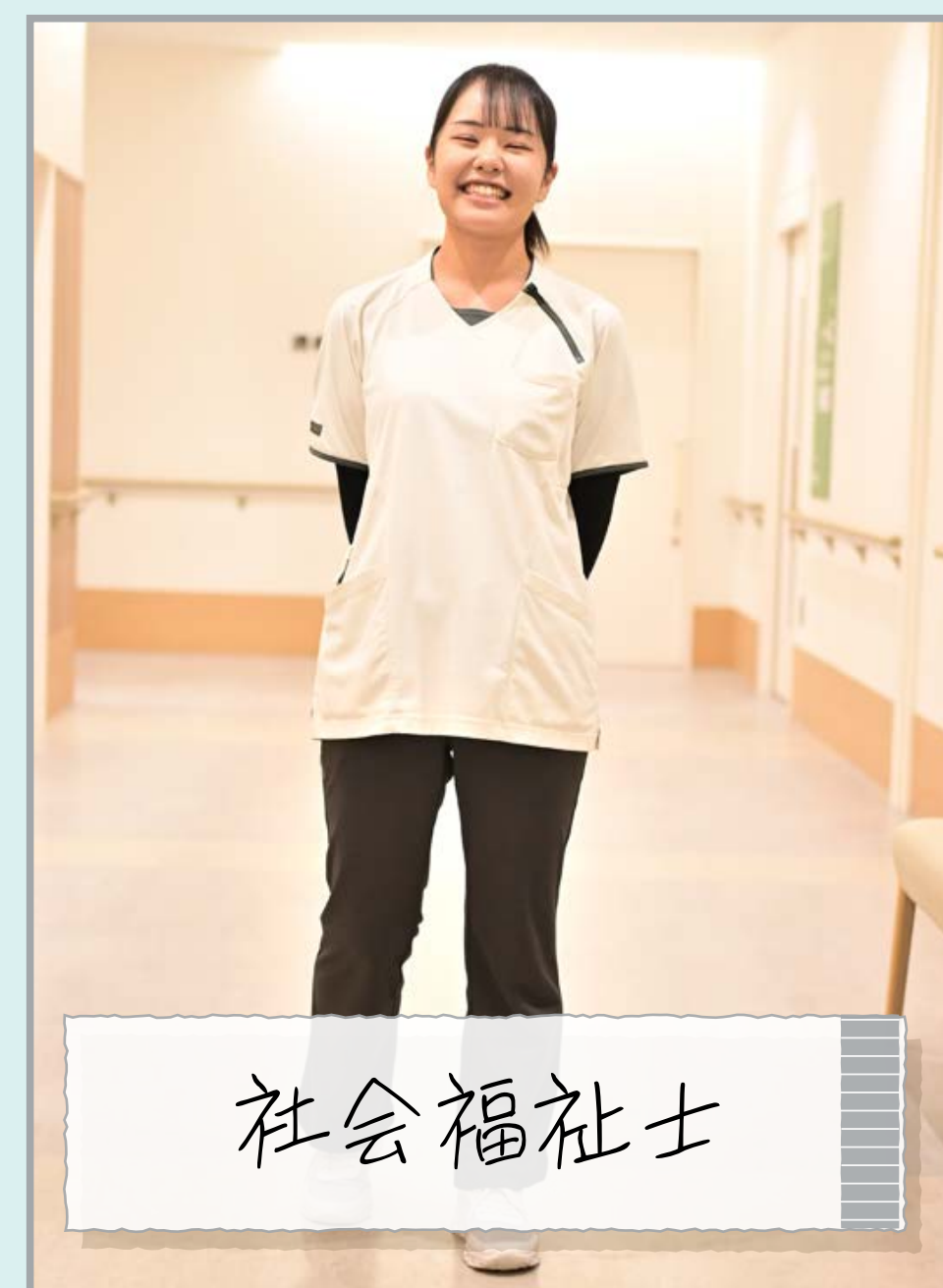
たくさんの職種があり、さまざまなスタッフが働いている当院では、各職種で連携しながらより良いチーム医療を提供しています。来院された際には、チェックしてみてください。



看護師



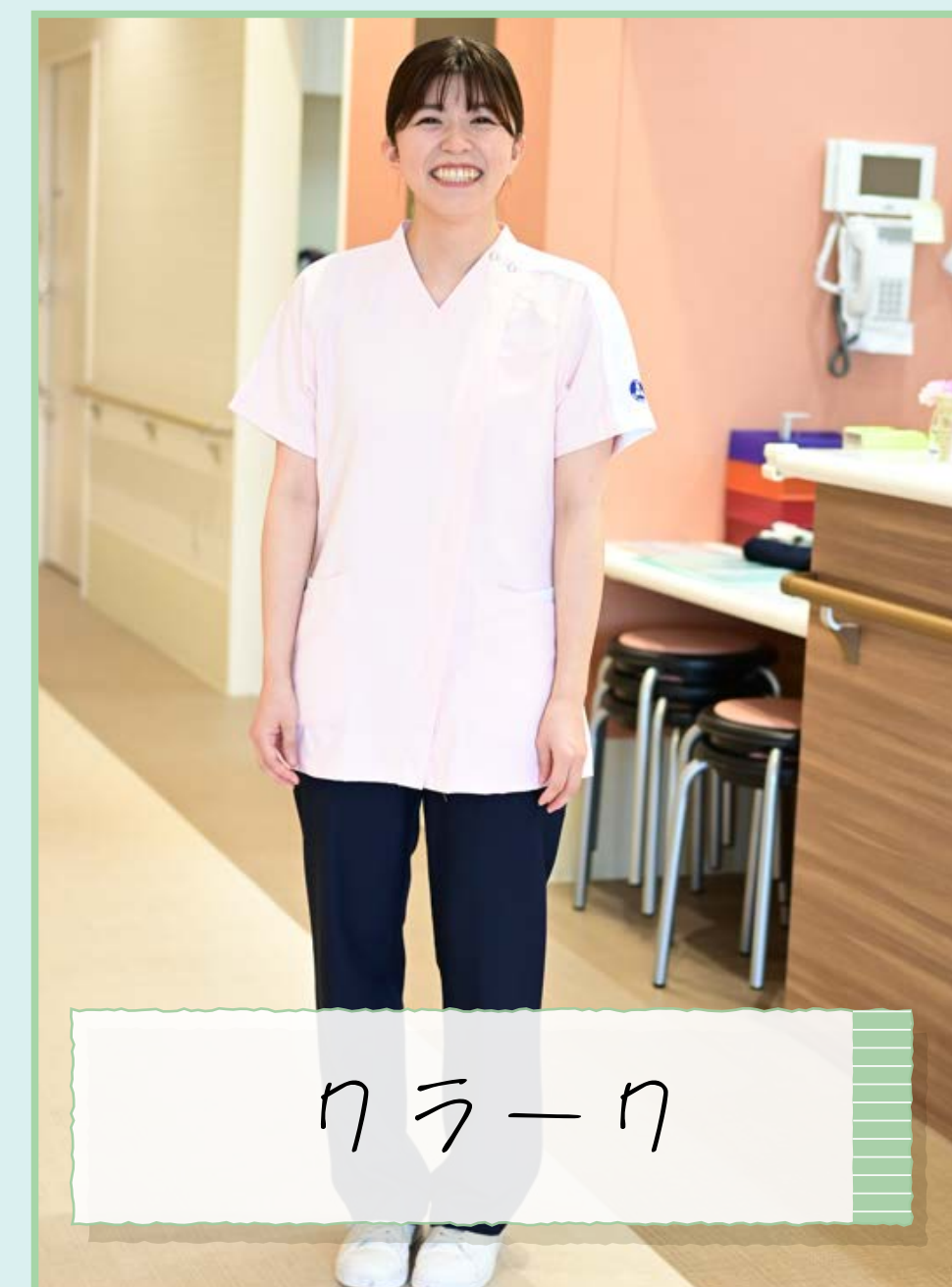
看護補助
介護福祉士



社会福祉士



医師



リレーワ



医療技術部門



薬剤師



手術室



医師事務作業補助



訪問診療
(看護師・医師)



事務



調理師



薬剤部では、患者さま中心の医療を考え、医薬品に関する専門的知識をもとに他職種と情報交換を図りながら、医療チームの一員として行動しています。病院薬剤師の業務は多岐にわたり、調剤、製剤、医薬品管理などの医薬品そのものを扱うことだけでなく、医薬品に係わる正しい情報を提供し、医薬品の適正使用の推進に努めています。今回は、薬剤部の日々の業務についてご紹介します。



01 調剤業務

入院患者さまに対する業務が中心となります。処方箋に基づく調剤、処方監査、調剤鑑査、注射薬の混注、吸入薬・点眼薬などの調製などを行っています。

02 医薬品管理業務

医薬品の供給を行うとともに、院内の医薬品の在庫を管理しています。



03 医薬品情報(DI)業務

医薬品情報の収集、整理、伝達、情報の提供などを行っています。また、月に一度院内の情報誌の作成なども行っています。

04 病棟業務



患者さまにとって『身近な薬剤師』を目指しています。入院患者さまのベッドサイドに足を運び、患者さまの訴えを聞きながら個々に服薬指導を行います。また、服薬指導で得た情報を他職種と共有し、アドヒアランス・QOLの向上に繋げることを目標にしています。

チーム医療にも参加

様々な医療スタッフがチームを組み、それぞれの専門性を活かして患者さまの治療にあたっています。薬剤部でもチーム医療に参加し、質の高い薬物療法の提供を心掛けています。

NST(栄養サポートチーム)

患者さまの栄養状態が不十分であると、病気の治癒が遅くなるだけでなく、様々な合併症を引き起こす場合があります。薬剤師が患者さまに投与されている栄養バランスを評価することで、褥瘡の改善に貢献します。



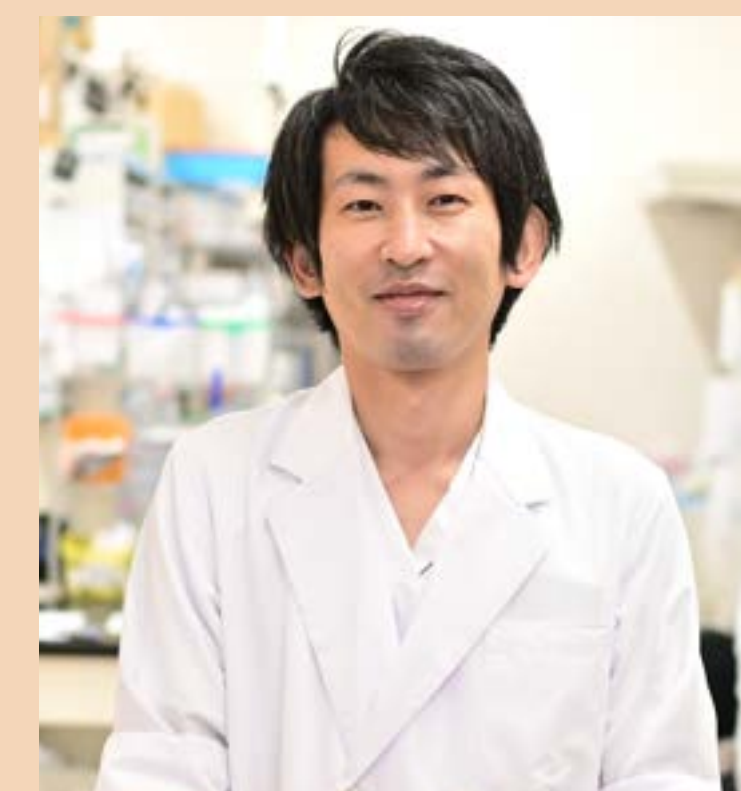
ICT(感染制御チーム)

院内感染症は他の患者さま、医療従事者に感染する恐れがあります。薬剤師は、抗菌薬・消毒薬の使用状況のモニタリングや、抗菌薬の投与設計などを行っています。



OLS(骨粗鬆症リエゾンサービス)

骨粗鬆症リエゾンサービスは、医師と多職種のスタッフで協働して、骨粗鬆症や骨折を予防するための取り組みです。薬剤師は処方提案や服薬指導などを行い、骨粗鬆症や骨折の予防を支援しています。



入院患者さまの薬物療法が適切に行われるよう、薬剤師が病棟に出向きお薬について説明を行ったり、お薬を正しく服用出来るようサポートしています。また、薬剤師の立場でチーム医療に貢献しています。私達は医療の担い手として、常に同僚や他職種と協力しながら医療や保健、福祉の向上に努め、患者さまの利益のために職能の最善を尽くしています。日々の研鑽を重ね、薬剤師として患者さまの治療に貢献出来るよう努めてまいります。

薬剤部／熊倉 裕昌 係長



Radiation Journal

～放射の窓～

放射線技術科 山本 峻也

今回は、「MRI装置」と「持続血糖測定器」についてお話させていただきます。

新 MRI 装置の特徴



当院は、2023年8月に新棟移転に伴い新しいMRI装置を導入しました。そこで、装置の特徴である「**3つのワイド**」についてご紹介します。



SIGNA Viyager 1.5T

その1 **ワイドボア** (60cm → 70cm)

ガントリー口径が広い！

その2 **ワイドテーブル** (53cm → 56cm)

寝台の幅が広い！

その3 **ワイドカバレッジ** (50cm)

一度の撮影が広範囲に！



持続血糖測定器とは？



持続血糖測定器とは、皮下に小さなセンサーを留置し、血糖値の変化を測定する機器になります。従来の血糖測定は、指先の穿刺による方法しかありませんでした。しかし、持続血糖測定器では、腕や腹部に取り付けることで血糖値を測定します。また、穿刺による痛みを伴うことなく、測定することが出来ます。以下のものが現在、国内で使用されている持続血糖測定器の一部になります。



メドトロニック
ガーディアンコネクト

装着部位

- ・上腕後部
- ・腹部



Dexcom G7 CGM システム

装着部位

- ・上腕後部
- ・腹部



FreeStyle リブレ2

装着部位

- ・上腕後部

(引用文献：糖尿病リソースガイド)

放射線検査を受診するにあたって

持続血糖測定器のセンサーの中には**小さな金属の針**があります。そのため、磁力を用いるMRI検査室には持ち込めません。また、測定機器に直接放射線があたることで、誤作動を起こしてしまう可能性があります。そのため**放射線検査を受診する際には、持続血糖測定器を外していただく必要があります**。しかし、一度外すと同じものを再度使用することが出来ない為、担当の医師に確認していただくようお願いします。ご不明な点がございましたら、放射線技術科までお気軽にお声がけください。



院長 金崎 聖伸 先生

地域の皆さまの健康をサポートしている
連携医療機関をご紹介します。

地域医療を支える
連携医療機関のご紹介



金崎内科医院

診療科目 内科・糖尿病内科・小児科

お子さまからお年寄りまで内科系の診療を行っております。伊奈町で診療を始めて20年近くになりますが、気が付けば「ファミリークリニック」のようになっていました。受診された際にご家族の話題や相談で盛り上がってしまうこともあります。

専門は糖尿病と腎臓病ですが、特に糖尿病専門医として多くの糖尿病をもつ人のサポートが出来ればと考えております。最新の医療をご提案するとともに糖尿病に対するスティグマ（偏見）が少しでも解消されるような取り組みも続けていきたいです。また、慢性腎臓病(CKD)への地域全体での取り組みを行う体制づくりにも関わっております。今後も町民公開講座などの機会がありましたらご参加をお願いいたします。小さな診療所ですが近隣のクリニック、伊奈町の健康行政、そして伊奈病院さんとともに「オール伊奈」で地域の皆さまの健康増進に貢献してまいります。よろしくお願いいたします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	△	—
15:00～18:30	○	○	—	○	○	—	—

土曜午前は13:00まで
休日診：水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

〒362-0812
埼玉県北足立郡伊奈町内宿台3-40
TEL 048-728-8550

金崎先生はどんな人？

金崎先生には、INA骨粗しょう症予防講演会や伊奈病院で開催した近隣の先生方との交流会で「慢性腎臓病（CKD）」「糖尿病」に関するご講演をいただき、いつも分かりやすく説明してくれます。また、お願いに何うといつでも即答でお受け入れくださいます。つい先日、本を出版されましたが、先生の患者さんに寄り添うお人柄が垣間見えます。弦楽器奏者だそうですが、アマチュアオーケストラに所属されているとか。ゆっくり音楽鑑賞できますように。